

(報道資料)

平成 17 年度 環境中のダイオキシン類の調査結果について

平成18年5月19日
奈良市企画部環境保全課対策係
0742-34-1111 (内線2232)

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条に基づき、平成 17 年度に奈良市が実施した環境中の大気、水質、土壌等のダイオキシン類の調査結果は、次のとおりです。

環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準値
大気	2	0.050	0.048 , 0.051	0.6
公共用水域水質	3	0.34	0.081 ~ 0.86	1
公共用水域底質	3	1.1	0.61 ~ 2.1	150
地下水質	4	0.060	0.047 ~ 0.074	1
土壌	6	0.046	0.0050 ~ 0.12	1,000

単位：大気 pg-TEQ / m³
水質 pg-TEQ /
底質 pg-TEQ / g
土壌 pg-TEQ / g

環境中の大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌のダイオキシン類について、市内18地点で調査を実施した。
その結果、大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌の全地点において環境基準を下回っていた。

【 調査地点及び調査結果 】

大 気

1. 調査地点と検体数
西部大気汚染測定局（百楽園四丁目）と奈良市青少年児童会館（西木辻町）の2地点でそれぞれ年4回（5月，8月，11月，2月）実施。（8検体）
2. 調査結果 （別紙1）
2地点の平均値は $0.050\text{pg-TEQ} / \text{m}^3$ 、濃度は年平均値でそれぞれ 0.051 と $0.048\text{pg-TEQ} / \text{m}^3$ であり、両地点で環境基準（ $0.6\text{pg-TEQ} / \text{m}^3$ ）を下回っていた。

公共用水域水質

1. 調査地点と検体数
秋篠川、白砂川、菩提川（すべて流末）の3地点においてそれぞれ年1回実施。（3検体）
2. 調査結果 （別紙2）
3地点の平均値は $0.34\text{pg-TEQ} / \text{g}$ 、濃度はそれぞれ 0.86 、 0.081 、 $0.086\text{pg-TEQ} / \text{g}$ であり、すべての地点で環境基準（ $1\text{pg-TEQ} / \text{g}$ ）を下回っていた。

公共用水域底質

1. 調査地点と検体数
公共用水域水質と同じ3地点においてそれぞれ年1回実施。（3検体）
2. 調査結果 （別紙2）
3地点の平均値は $1.1\text{pg-TEQ} / \text{g}$ 、濃度はそれぞれ 0.61 、 0.67 、 $2.1\text{pg-TEQ} / \text{g}$ であり、すべての地点で環境基準（ $150\text{pg-TEQ} / \text{g}$ ）を下回っていた。

地下水質

1. 調査地点と検体数
秋篠町、今市町、中町、六条町の4地点においてそれぞれ年1回実施。（4検体）
2. 調査結果 （別紙2）
4地点の平均値は $0.060\text{pg-TEQ} / \text{g}$ 、濃度範囲は $0.047 \sim 0.074\text{pg-TEQ} / \text{g}$ であり、すべての地点で環境基準（ $1\text{pg-TEQ} / \text{g}$ ）を下回っていた。

土 壤

1. 調査地点と検体数
大安寺、大宮町、西九条町、帝塚山南、宝来、西大寺赤田町の6地点においてそれぞれ年1回実施。（6検体）
2. 調査結果 （別紙2）
6地点の平均値は $0.046\text{pg-TEQ} / \text{g}$ 、濃度範囲は $0.0050 \sim 0.12\text{pg-TEQ} / \text{g}$ であり、すべての地点で環境基準（ $1000\text{pg-TEQ} / \text{g}$ ）を下回っていた。

測定方法

大気

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」（平成13年8月環境省大気環境課）

公共用水域水質及び地下水質

JIS K 0312（工業用水・工場排水中のダイオキシン類及びポリナ-PCBの測定方法）

公共用水域底質

「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」（平成12年3月環境庁水質保全局水質管理課）

土 壤

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」（平成12年1月環境庁水質保全局土壌農業課）

【 参考 】

1. 全国における環境中のダイオキシン類濃度の状況

平成 16 年度ダイオキシン類に係る環境調査結果（平成 17 年 11 月環境省）

（単位： 大気 pg-TEQ / m³
 水質 pg-TEQ /
 底質 pg-TEQ / g
 土壌 pg-TEQ / g

環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準値
大気 (一般環境)	721	0.059	0.0083 ~ 0.38	0.6
公共用水域水質 (河川)	1,591	0.25	0.011 ~ 4.6	1
公共用水域底質 (河川)	1,336	7.1	0.050 ~ 1,300	150
地下水質	1,101	0.063	0.0079 ~ 3.2	1
土壌 (一般環境)	1,983	2.2	0 ~ 250	1,000

2. 用語解説

・ ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF) 及び
 びコプラナーポリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB)の総称

・ pg (ピコグラム)

g(グラム)の1兆分の1の重量を表す単位

・ TEQ (毒性等量)

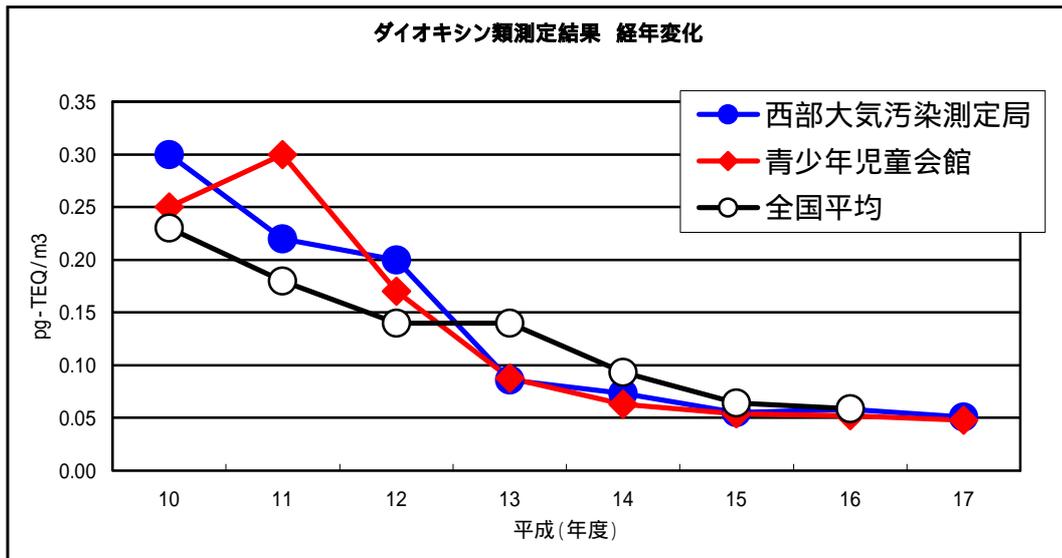
ダイオキシン類の実測濃度に TEF (ダイオキシン類の異性体の中で最も毒性の強い 2,3,7,8-TCDD の毒性を 1 としたときの他の異性体の相対的な毒性) を乗じて合計したもの

ダイオキシン類（大気）調査結果（平成 17 年度）

（単位：pg-TEQ / m³）

調査月 調査地点	5月	8月	11月	2月	平均値	環境基準値
西部大気汚染測定局	0.047	0.027	0.069	0.060	0.051	0.6
奈良市青少年児童会館	0.043	0.030	0.057	0.061	0.048	

< 経年変化 >



（単位：pg-TEQ/m³）

（注） H10 年度、H11 年度は PCDD 及び PCDF のみの値である。

ダイオキシン類（公共用水域（水質・底質））調査結果（平成 17 年度）

地 点	河 川	ダイオキシン類毒性等量	
		水質 (pg-TEQ /)	底質 (pg-TEQ / g)
大和川水系			
秋篠川流末（七条東町）	秋篠川	0.86	0.61
菩提川流末（恋の窪三丁目）	菩提川	0.086	2.1
淀川水系			
白砂川流末（広岡町）	白砂川	0.081	0.67

ダイオキシン類（地下水質）調査結果（平成 17 年度）

地 点	ダイオキシン類毒性等量 (pg-TEQ /)
秋篠町	0.048
今市町	0.047
中町	0.074
六条町	0.072

ダイオキシン類（土壌）調査結果（平成 17 年度）

地 点	ダイオキシン類毒性等量 (pg-TEQ / g)
大安寺	0.038
大宮町	0.060
西九条町	0.0050
帝塚山南	0.045
宝来	0.0079
西大寺赤田町	0.12